

クリアーカムMS-440

RM-440取扱説明書



松田通商株式会社

クリアーカムMS-440取扱説明書

RM-440

1.概要

MS-440は、4チャンネルの2Uサイズラックマウントタイプで、安定化電源及び、スピーカー内蔵のインターカムメインステーションです。モニター回路は、リミッター付マイクプリアンプ、ブリッジ回路、4ワットのパワーアンプで構成されています。

パワーアンプは、ヘッドセットとスピーカーをドライブする能力をもっています。

また、オプションのG.M（グーズネックマイク）仕様も可能です。（MS-440-GM）

このメインステーションは、ベルトバックリモートステーション（RS-501等）では100台。スピーカーステーション（KB-111A等）では20台まで接続できます。

RM-440の基本的な構成はメインステーションMS-440と同じです。

MS-440の電源部を除いたタイプとしてシステムの一部を構成します。

2.プログラムモニター

MS-440においてプログラム信号はインターカムラインとMS-440のヘッドセットスピーカーアンプの2つの回路へ別々に送られます。このステーションのスピーカーとヘッドセットへのプログラムレベルは、プログラムボリュームによりセットされます。また、各インターカムチャンネルに送られたプログラムはアクセスプレート内のトリムボリュームにより各チャンネルごと独立して設定することができます。

3.ステージアナウンス

フロントパネルにあアナウンススイッチを押すことにより、リアパネル上の専用コネクター（XLR-3-32タイプ）から、MS-440のトーク（送話）シグナルをインターカムラインと独立して出力することができます。この時、通常送話信号はインターカムラインから切断されますがスイッチ内部にジャンパーラインを付加することにより設定をかえることもできます。

4.モニター

スピーカー及びヘッドセットの音量は、フロントパネルのボリュームでコントロールされます。

5.サイドトーン

フロントパネルにあるサイドトーンアジャストを調整することにより、MS-440に接続したヘッドセットマイクのヘッドフォン、スピーカーへフィードするレベルをコントロールできます。これをコントロールすることにより、外部スピーカーからのハウリングを防ぐことができます。

6.電源部

MS-440内部の安定化電源回路は、接続ラインのショートに対するサーキットプロテクションを持っており、ラインがショートした場合やオーバーロード状態になると自動的にショートサーキットセンサーが作動し、フロントパネルにあるショートインジケータが点灯します。ショートの原因を取り除きリセットボタンを押すと復帰します。

7.コネクタ

リアパネルには、A・B・C・Dチャンネルコネクタとして、各2個のXLR-3-31タイプコネクタ（RM-440はXLR-3-32と3-31が1つずつ）と、ステージアナウンス出力用として1個のXLR-3-32タイプコネクタ、外部入力用としてXLR-3-31タイプコネクタがある他、IFB/HOT MIC出力用として1/4インチフォーンジャック、アクセサリ用コネクタとしてDB-15Fも装備しています。

8.ステーションの接続

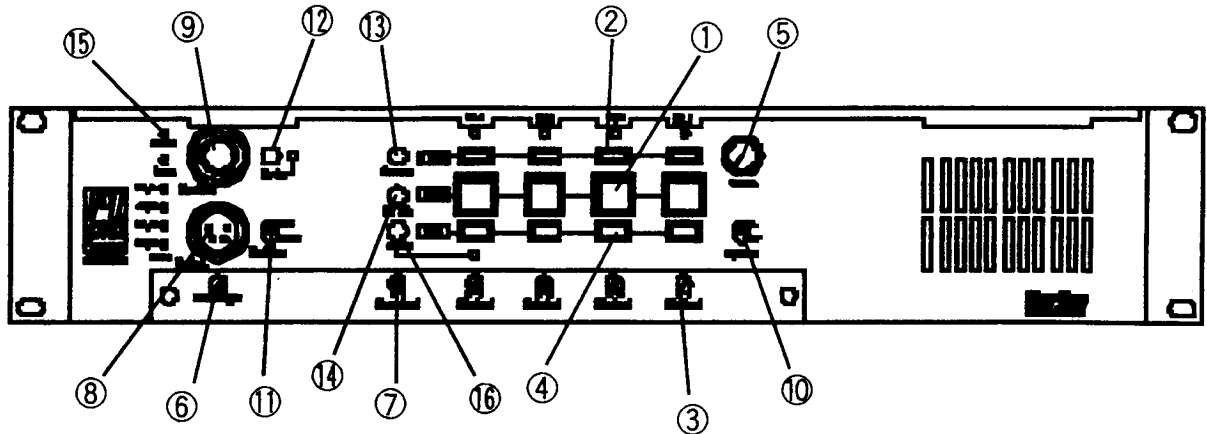
各ステーションの接続ケーブルには、標準2芯シールドケーブル、及びXLR-3型コネクタを、下記のように接続してください。

P I N	1	シールド
	2	+30v
	3	インターカムライン

9.ターミネーション

クリアカムシステムには、一つのインターカムチャンネルに必ず一つターミネーションが必要です。このターミネーションは、通常電源部を持つメインステーション（MS-440等）に備わっています。

もしMS-440を、リモートステーションとして使用する場合（他のステーションでターミネーションしてある場合）、内部に配置された各A・B・C・DチャンネルのターミネーションスイッチをOFFにする必要があります。



(フロントパネル機能説明)

(1) Talk

TALKスイッチを押すと接続されたヘッドセットのマイクロフォン音声チャンネルに送られます。

瞬間押し：ロックオン スwitchを上押しすると送話状態となります。

1秒以上押し：モーメンタリーオン スwitchを押している間だけ送話状態となります。

TALKボタンは、通話可能な状態で薄く点灯し、チャンネルがコール信号を受けたとき、フラッシュします。

(2) Listen

受話するチャンネルのボタンを押します。

(TALKボタンとLISTENセレクトボタンの連動の設定も可能です、詳細は(25)参照)

(3) Listen Level

4つのチャンネルごとの受話音量を調整します。

(4) Call

コールボタンを押すと、INTERCOMセレクトボタンが押されているチャンネルにコール信号が送られます。コールボタンが押されている間、そのチャンネルのINTERCOMセレクトボタンが明るく点灯するのは、ライン上にコール信号が送られていることを表示しています。

(5) Volume

スピーカーとヘッドセットのリッスンレベルを調整します。チャンネルの音声を聴くときはコントロールノブをまわしレベルを設定してください。また、完全に絞り切った状態でOFFとなります。

(6) Sidetone adj

ヘッドセットへの自分のマイクからの音声の返るレベルが最小となるように調整します。この調整により通話の明瞭度がより向上します。

(7) P l o g r a m L e v e l

このステーションのスピーカーとヘッドセットへのプログラムレベルを調整します。

(8) H e a d e S e t

ヘッドセットコネクタはXLR-4-32タイプで標準クリアカムヘッドセット仕様に対応しています。

マイクロフォン	200Ω	ダイナミックタイプ
ヘッドフォン	50~1kΩ	ダイナミックタイプ(CC-85 400Ω CC-250 200Ω)

(9) P a n e l M i c

オプションのグースネックマイク (GM-9又はGM-18) を取り付けます。

(10) S p e a k e r O N / O F F

スピーカーでのモニターON/OFFを切り替えます。

(11) M i c S e l e c t

ヘッドセットコネクタに接続されたヘッドセットのマイク、またはG、Mオプション設定のパネルマイクのどちらかを選択し切り替えます。

(12) M i c O n

選択されているマイクのON/OFFを切り換えます。

TALKスイッチの設定を変えずに送話を切ることが出来ます。

(13) A n n o u n c e

アナウンススイッチを押すことにより、MS-440のトーク (送話) シグナルをインターカムラインと独立して出力することができます。アナウンスボタンを押した場合には、インターカムラインへのトークはOFFとなり、離すとONに戻ります。

タレントキューや楽屋などのインカムシステム外のシステムに直接トークをするために使用します。

(14) A l l T a l k

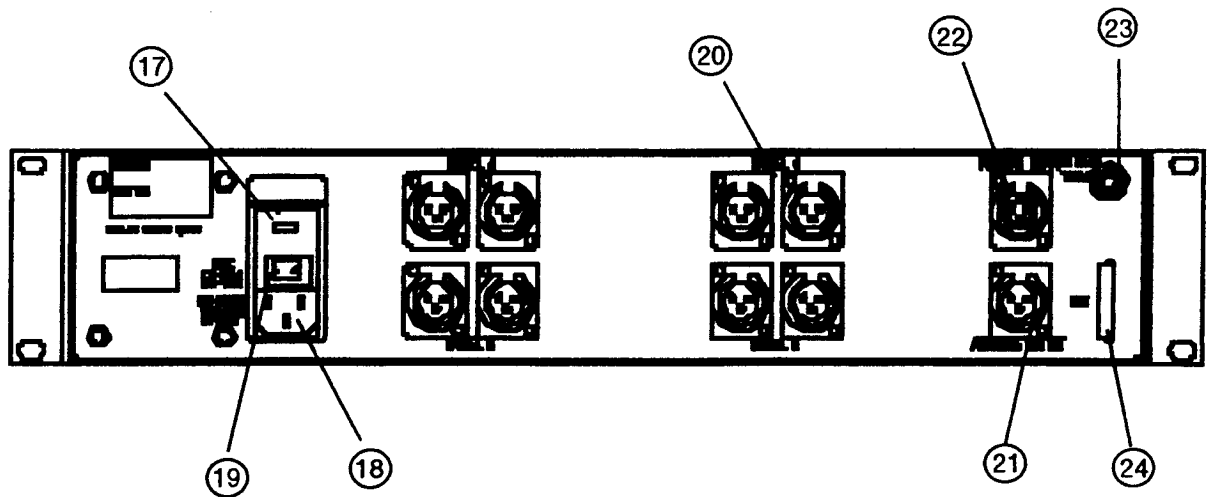
4つのチャンネル全てに送話回路のON/OFFにかかわらずメインステーションからの音声を送ります。EMERGENCY CALL時などにボタンを押している間だけ動作します。オールトークはほかのステーションの機能には一切影響を与えません。

(15) R e s e t (MS-440のみ)

ラインがショートなどの原因でサーキットプロテクションが働いた場合、そのショートの原因を取り除いた後リセットボタンを押すことにより回路が復帰します。

(16) L i n k O n

このボタンを押すことにより、4つのチャンネルが全て1つの系統 (CH A) となります。



(リアパネル機能説明)

(17) 電源スイッチ (MS-440のみ)

ONの状態では前面パネルのPower LEDが点灯します。

I がON

○がOFF です。

(18) 電源コネクタ (MS-440のみ)

アース付3芯ACケーブル (付属品) を接続します。

(19) 電圧切替FUSE (MS-440のみ)

電源ケーブルの近くにヒューズフォルダがあります。ヒューズの交換の際には、ヒューズフォルダの隙間にマイナスドライバーを差し込み外してください。ヒューズ交換の際には同じ値のアンペアのヒューズを使用してください。

(20) インターカムラインコネクタ

A・B・C・Dチャンネルコネクタとして、各2個のXLR-3-32タイプコネクタ (RM-440はXLR-3-32と3-31が1つずつ) があります。

標準クリアーカムワイヤリング

PIN	
1	シールド
2	+30v
3	インターカムライン

(21) ステージアナウンスアウトプット

出力は、トランスフォーマーアウトプットで600Ω 0dBv、XLR-3-32タイプコネクタです。

ワイヤリング	PIN	
	1	シールド
	2	(-) AUDIO
	3	(+) AUDIO

(22) プログラムインプットコネクタ

入力、電子バランスインプットでXLR-3-31タイプコネクタです。

ワイヤリング	PIN	
	1	シールド
	2	(-) AUDIO
	3	(+) AUDIO

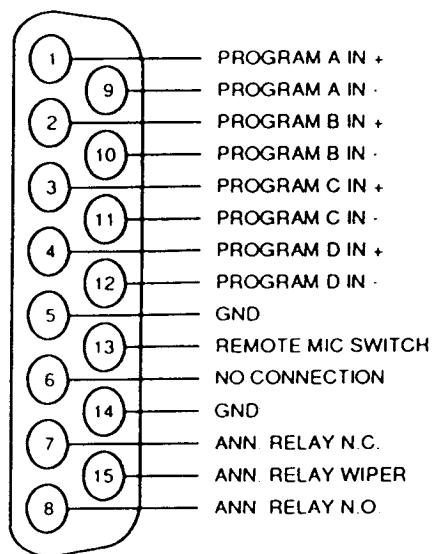
(23) I F B H O T M I C t o M A - 4

1/4インチフォーンジャックでClear-ComのI F Bシステムと共に使用するためのものです。
御使用になる場合は代理店までご相談下さい。

(24) A U X

アクセサリ用のコネクタで、各チャンネルに独立したプログラム信号を送ることが出来る他
リモートによるマイクのON/OFFを行ったり、アナウンスボタンにより外部にリレー接点を
取る必要が有るときに使用します。

コネクション



コネクタを背面から見た図です。

(24) アクセスパネル

前面パネルのアクセスパネル内には、以下のような調整があります。

○PLOGRAM INTERRUPT (CH B、C、Dのみ)

このディップスイッチをONにしたチャンネルはTALKボタンを押すことによりプログラム信号が減衰します。(この機能はCH Aには有りません。)

○AUTO-CALL

このディップスイッチをONにしたチャンネルはTALKボタンを押すことによりCALL信号が送られます。

○AUTO-TALK/LISTEN

このディップスイッチをONにしたチャンネルはTALKボタンを押すことによりLISTEN状態になります。

○TALK LACH DISABLE

このディップスイッチをONにしたチャンネルはTALKボタンを押すことによりTALKボタンのロックができなくなります。

○PLOGRAM ON/OFF

このディップスイッチをONにしたチャンネルに背面パネルのXLR-3コネクターから入力されたメイン・プログラム信号を送ります。

(OFFの状態ではAUXコネクターから入力された信号が送られます。)

○LINE LENGTH

このスイッチによりラインのナリングを最良の状態にすることが出来ます。

出荷時はSHORT(1200m以下)に設定されています。スイッチを下にするとLONG(1200m)以上の設定になります。

○Null

スクリュードライバーでチャンネルごとのナリング調整を行ないます。

サイドトーンと同様に、ヘッドセットへの自分のマイクからの音声の返るレベルが最小となるように調整します。

インターカムライン上の子機の数量の増減やインターカムラインの長さが変化した場合には、再度、調整が必要となります。

○Pgm

チャンネルごとのプログラム信号の音量を調整します。

